

ウッディチキン／静岡例会

『例会レポート 149』

日 程	2020年7月8日(水)
会 場	Bワールド 藤枝市小石川町 1-7-34 TEL 054-639-7728
参加者数	約 51 名(内県外 29 名)
講演会内容	受付 18:30～ 講演時間 19:00～20:30 講演テーマ 「今後のボランティアの考え、魂の学び」 講師 ウッディ代表 伊藤 豊氏 NPO 法人 NEKKO(助産師)富田江里子さん ZOOM で参加
親睦会	21:00～ Bワールドにて



ウッディキッチン事務局

文章・写真提供／向井 健介

今年の梅雨前線はしつこく全国各地で豪雨・・・

当日は1週間ず〜と振り続けた雨が、奇跡的に小降りになりました。

例会前に、全国実行委員会で来年のスケジュールを確認しました。

参加できない支部長は、ZOOMで参加し、久しぶりにみんなで現状報告ができました。

ZOOMって便利ですね！

今回も県外から約30名の仲間が集まり久しぶりにみんなでコミュニケーションをとり、大盛り上がりでした！

司会は、アンドエー 内野まりあさんと柴田安由美さんの2名。最初に、支部長の浜子さんの挨拶からスタートしました。

そして支部サロンのスタッフ代表3名からコロナ禍のサロン営業での気づきと感動エピソードの発表がありました。

①ヒュッケ アシスタント 鈴木さん

コロナ時に休業するかみんなで話しあった結果、こんな時やからこそ心を1つにして営業しようということになりました。

スタッフの体調管理をし、毎日検温して、席の間隔をあげ消毒の徹底し営業しました。

免疫力UPスパという新メニューを作成し、お客様に提案しました。

お客様からは、メールでどのようにお店を営業しているかなどお知らせをくれていたので安心して訪問できましたなどお声を頂きました。お客様が来店していただけることの感謝に気持ちが再確認できている気がします。

②ラサ 石川さん

お客様の免疫力をUPすることにフォーカスして、施術にプラスαを加えていきました。

シャンプー時のマスクに免疫力アップのアロマをお付けしたのが評判よかったです。

テレビなどの情報では、コロナの犯人探しをしている気がして、ラサでは誰のせいにもコロナのせいにもしないようにスタッフ間、お客様、取引先の方とのコミュニケーションを考えました。

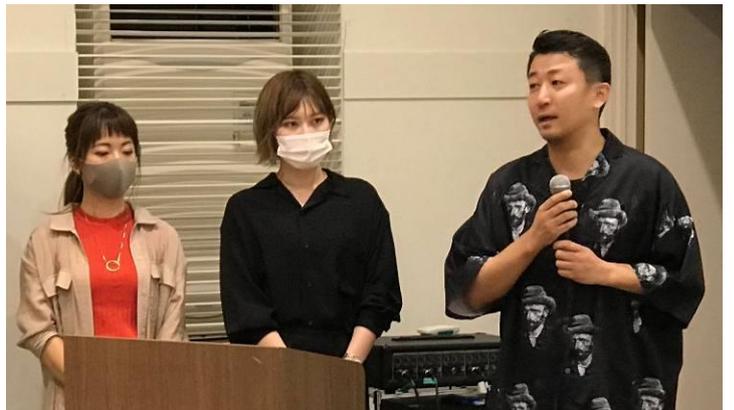
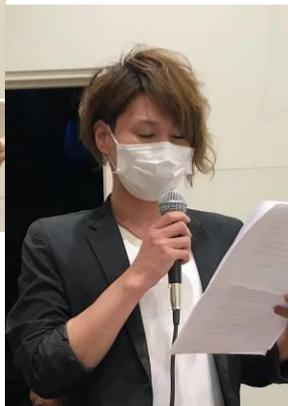
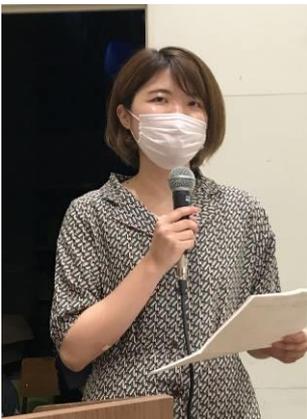
今回のコロナで気づけたのは、当たり前なことへの感謝でした。

③アンドA 稲垣さん

消毒を徹底していて安心した。マスクを着けたまま施術ができてよかったなどの声を頂きました。

6月に来店されたお客様全員に、少しでも家でリラックスしてほしいという気持ちを込めてバスソルトをプレゼントしました。お客様がお店を心配していただいたことで多くの事に気づかされました。

当たり前のことへの感謝する原点に戻れた気がします。



フィリピンボランティアの報告

ナツプ 安井さん クンクンルーホー 宮前さん コルザ 上田さん

ウディチキン フィリピンボランティアの経緯

- 2014. 5 イトーさん、久保先生、森脇会長、北田さん フィリピンボランティア視察 メイタン君と出会う
- 2014. 11 第1回目フィリピンボランティア NEKKO富田江里子さん アクション横田宗さん
出逢い 横田宗さん アクション訪問 富田江里子さん クリニック シンディ
小学校ボランティアカット ダニエラの町でアレンジメント アクション訪問 ダニエラ メイタン
- 2015. 6 尾池さんフィリピンボランティア参加
- 2016. 7 アエタ族 イバット村 富田一也さん 絆サロンスタッフ 酋長 ママル ドミトリー
- 2017. 11 絆サロン あらた ミデル プーヨ心臓手術 清水先生 整体中山先生岩本先生 ヘアショー
千景さん亡くなる
- 2018. 4 パブパブ心臓病手術成功 マニキュア ナニンの村
- 2018. 11 脱腸ユーアン 小学校 マクマック
- 2019. 4 トントン 水頭症女の子
- 2019. 6 タイガー初団長
- 2019. 7 イトーさん、淳子さん、タイガーで急遽トントンのもとへ
- 2019. 11 2班に分かれていく
- 2020. 4 コロナのため中止 トントン亡くなる



たくさんの出逢いがありました。

死に直面することで大きく価値観が変わりましたし多くの学びがそこにありました。

カプロジェクトの横田さんと助産師の富田さんとの出逢い

2014年 第1回フィリピンボランティア

横田宗さん



富田江里子さん





子どもの死に直面



絆サロンのスタート

絆サロンは、アエタ族の方に自分たちでブライダルを演出できるように育てようということで立ち上げました。

最初に取り組んだのは、アエタ族の女性をきれいにするものでした！

カメラを向けても、恥ずかしそうにしていた彼女たちがみるみる変わっていく様を見て確信しました。

2016 絆サロンの始まり



きれいにしてそれをする側にしてみないか？



ボランティア活動における経営者の学び

2011年に東日本大震災のときにぼくはボランティアに参加することができなかった。この頃からウッディチキンによく参加するようになった。積極的に参加できなかったことをずっと悔やんでいた。2014年にフィリピンボランティアの話が出たときに、おそらく一番に申し込んだ。はじめは人を助けるとか、役に立つとかではなくフィリピンボランティアにただ自分が行きたいだけの自分本位だったかもしれません。しかし、深くかかわっていくうちに、関わりのある子たちの子を何とかしてやりたい！という思いが強くなってきた。病気の子たちを助けて無事生きることができるようにしてあげたい。貧しい人達と関わって、今だけでもいいから笑顔にしてやりたい。また、来てくれるという楽しみを持たせてやりたい。ボランティアでの学びはウッディの仲間で行くので、その人たちの人に対する思いと行動です。イトーさんはもちろん、ウッディメンバーには素晴らしい考えの持ち主たちがいます。ボランティアでは必ずと言っていいほど問題がおきますが、それを皆さんで対応していく意見や判断のやり取りがしびれます。毎回ですが、持ち寄ったお菓子を袋詰めする作業からはじまるのですが、協力する姿勢、リーダー力を発揮する人、サポートする人、あつという間にチームができて、見事にすごい数のお菓子の袋詰めができていきます。また、大きなイベントをするときは、「あれがないこれがうまくいかない」なんてことは必ずありますが、機転を利かせてすぐに解決していきます。ウッディメンバーはスタッフも含めてすごいです。そして、ボランティアリーダーというライングループがあるのですが、そこでは、日本にいる間に起こる問題をライン上で話し合ったりもします。トントンのときの対応の仕方、一也さんが抱えている絆スタッフの対応の仕方の問題、手術でお金が必要になったときなどです。

いろいろなことがおきますが、その対応が勉強になります。価値観の上中下のお話をイトーさんから学びますが、人として美しいかどうかの基準で行われる解決の仕方なので、その様は本当に勉強になります。もちろん、現場でもスタッフさんの反応や行動も「こんなスタッフさんが自分のお店にいたら最強やなあー」と思う子たちもボランティアにくる子たちはたくさんいます。きっと、スタッフさんたちもそういう子たちとホテルで同室になってお話をしたり、ボランティアで同じチームになって一生に行動することがすごく勉強になると思います。ぼくは、ボランティアで人の考え方をイトーさんはじめ、皆様に学んでおります。

フィリピンボランティアに



① 衝撃

○日本でだったらすぐ治る病気がケガで命を落としている。

○小さい子供でも生きるために働くことが当たり前。

○地域によっては、
大人はマージャンやカードゲームをし子供が働く。

○女の子は自分の身体が商売道具になる。

○赤ちゃんの時に栄養失調だと髪に栄養がいかず金髪になる。



②気づき

- 貧しいと不幸はまた違う。
貧しくてもみんなで分け合い、助け合い生きている心が豊かな人達。
- 自分・家族・お客様・スタッフみんな元気で
仕事させてもらえることのありがたさ♡
- 美容の力は、瞬時に人を笑顔にし、自信を届けられる最高の仕事☆
下を向いて目を合わせてくれなかった子ども達が
かわいくなると笑顔になった。
- 聞くのと、実際自分が見るのでは、感じる力が違う。
- 知らないことが多すぎることを知った。



③考える

フィリピンに行けるのは
年に1回。もしくは2~3年に1回
日本でもできることは
何だろう、、、、？



ラポットカンパニー 代表 伊藤豊氏
「今後のボランティアの考え、魂の学び」

最初にフィリピンから ZOOM で NPO 法人 NEKKO(助産師)
富田さんが参加してくれました。

ウッディが起こした奇跡「トントン君」
募金で手術代を寄付していただいたことはもちろんですが
みなさんが関心を持ってくれたことが一番大きかった。と思います。
多くの人が祈ってくれたことが奇跡を起こした。

心肺停止の状態が続いたにもかかわらず、戻ってきた。ドクターもびっくりしていました。
死んだことは残念ですが・・・最後まで全力で生き抜いたことが尊い事だと思います。



「人に 触れる人」

・美しくできる人・喜びを作れる・相手の可能性を引き出せる・治癒力はすべてその人の中に
人生の中での出逢い。あったかい気持ちの人が人を変える。その人に会うとあったかい気持ちになる。
一人ひとりの中に自己治癒力がある。それにスイッチを入れるのが、その温かい気持ちだと思います。
ウッディの皆さんには、その力があります。いつも来られた時に感じています。
人に 触れる人・・・美容師は人に触れる天使の仕事だと思います。

伊藤さん

ウッディの目的は、本を読んで心を磨くこと
積徳・・・徳を積む⇒行動⇒ボランティア
人が入ってこれないような会を作ろうと、バグジーの久保先生と立ち上げました。
第 1 回目は、論語の本で始めましたが、全く読めませんでした。(笑)

江里子さんとの出会いは、東京のカメラマンの堀口さんから紹介してもらったのがきっかけです。

2014 年の 5 月に初めてフィリピンに視察に行った。
この時初めて、メイタン君にあった。衝撃でした。手術代 30 万を募金活動スタートしたのが最初でした。
その時スモーキーマウンテンなど回った。

「法則を知る」学びを深めていくときに気づく

・思考は実現する ～他人を不幸にする(利己の)願い以外は～ 引き寄せの法則
守りに入ると、不が寄ってくる。(コロナウイルスに負けない気持ち)
・投げたものが返ってくる ～まいた種は刈り取らなければならない～
・人間は魂の成長のために生まれてくる ～いずれ肉体はなくなる～
・業の流転(ごうのるてん) ～輪廻転生・人生を好転させるには～

・静と動の自己磨き
・利他・積徳の磨き

・思考の習慣を変える(知っているではなく出来る)

「誇り高き集団 ウッディチキン」

その会では、利を持って参加しても疎外はされないが、皆から尊敬されない

その会の人たちは人の絆を重要視する

その会では、自分が得ることよりも人に与えることの方が価値高いとされる

その会では、強い事や多くを持つことよりも、やさしい事や思いやりがあることの方が尊敬される

以上です。

懇親会





ウッディ事務局 向井健介